

2020 年度外国語教育センターFD 活動報告

2020 年度、外国語教育センターにおいて、以下の FD 活動を実施した。

【英語教育部門】

1. 副センター長（英語教育部門担当）と専任教員が参加する英語教育部門内ミーティングをおおむね 1 週間に 1 回の頻度で開催し、授業運営や学生支援などについて、意見交換を行う予定であったが、コロナ禍で対面での実施ができず、その分、メール等で必要な情報提供や意見交換を頻繁に行い、質問等については副センター長、SLI、事務スタッフが常時対応した。
2. まず、4 月 16 日（木）、17 日（金）の両日、Web Class を用いたオンライン授業の実施方法について、専任教員・非常勤講師を対象に講習会を開催した（於、R34）。オンライン授業の実施にあたり、4 月時点では学内での運用方針が明確でなかったため、とりあえず Web Class 利用に習熟させるため、4 回に分けて、合計 58 名が参加した。
3. 年度末の 2021 年 2 月 2 日（火）には、一年間のオンライン授業を振り返り、成功例・失敗例を共有する勉強会を ZOOM 上で実施した。参加者は 8 つのブレイクアウトルームに分かれ（15 分ずつ 4 回、メンバーを入れ替えた）、それぞれ情報を共有した。
4. 英語においては、大学が設定した「資料ダウンロードサーバ」と既存の Web Class に加え、外部のオンラインサイトも充実しており、教員によっていずれを多用するかについてバラつきが見られ、一部の学生に混乱を与えた（特に ZOOM に対する習熟度は教員によって異なる上、非常勤講師によっては ZOOM 以外の会議ツールの方を得意とする者もいたため）。これについては、適宜、補足的な説明を個別に行うとともに、関係教職員間での連携を密にするよう心掛けた。
5. 共有教材である多読教材をさらに充実させた。
6. 推薦テキストを英語教育部門内の専用棚に置き、引き続き教員たちが自由に参照できるようにした。
7. *Foreign Language Education Center - English Education Division Handbook* の内容を本年度も更新した。このハンドブックを配布、活用することにより、共通教育英語プログラムの統一化を図った。

【初習外国語教育部門】

1. 副センター長（初習外国語教育部門担当）と専任教員が参加する初習外国語教育部門内ミーティングを月 1 回開催し、各外国語の授業運営や学生支援などについて、意見交換を行った。
2. 春学期は 2020 年 6 月 10 日に開催された外国語学部主催の FD 研修会において、副センター長（初習外国語教育部門担当）および専任教員 3 名の企画により、フランス語・

ドイツ語・中国語のオンライン授業における授業運営に関する報告および質疑応答を行い、初習外国語教育部門の専任教員が全員参加した。秋学期は 2021 年 1 月 18 日に FD 研修会を開催し、韓国朝鮮語のオンライン授業における授業運営に関する報告と参加者全員による質疑応答を通じて、よりよい授業運営のための意見交換を行った。

3. 2021 年 1 月 18 日（月）には、「南山大学における初習外国語教育の現状と改善－韓国朝鮮語を例に－」と題した FD 研修会を実施し、担当クラスにおける授業のあり方、クラスで起こっている問題点、今後の授業で新たに試みたいことをディスカッションした。参加者は、初習外国語部門所属専任教員 4 名、共通教育外国語科目担当専任教員（外国語学部所属 4 名）および担当副センター長 1 名の合計 9 名が参加した。
4. 各外国語において、専任教員による打ち合わせを週 1 回以上、専任教員と非常勤講師によるミーティングを年 1 回行い、授業運営や学生支援などについて、意見交換を行った。
5. 各外国語において、1 クラスにつき 2 名の教員が授業を担当する体制で円滑な授業運営を行うため、教材、進度、教授法などに関する改善案を随時検討し、来年度のシラバスに反映させた。
6. 年度末に LI 全員が 1 年間を振り返り、それを文章にまとめて副センター長に提出した上で、個別面談を行った。

【日本語教育部門】

1. 外国人留学生別科では、2020 年 6 月 5 日（金）に日本語教育担当者（副センター長、専任教員、非常勤講師）を対象とした全体会議を ZOOM 上で開催し、2020 年度春学期に実施されたオンライン授業の振り返りを行うとともに、2020 年度秋学期に向けた課題について問題意識の共有を図った。
2. 外国人留学生別科では、副センター長（日本語教育部門担当）と専任教員によるチーフ座談会を 1 学期に 2 回開催し、別科日本語教育について意見交換した。各レベル内では、専任教員であるチーフを中心に、非常勤講師も含めた担当者全員で毎週ミーティングを開き、授業運営や学生支援などについての情報交換や調整を行った。
3. なお、外国人留学生別科では、新型コロナウイルス感染拡大による別科授業停止とオンライン化に対応するため、大学全体の学年暦では昨年度にあたる、2020 年 3 月 9 日と 3 月 10 日にワークショップを開催している。
4. 共通教育の日本語については、関連科目担当者間で授業に関する情報交換を必要に応じて行い、授業運営に役立てた。
5. 共通教育の日本語のうち総合政策学部生対象の日本語については、指導教員が学期中に 1 回以上学生と個人面談し、生活面と学習面についての相談と助言を行い、それを必要に応じて担当者間で共有して教育に役立てた。

以上